文書改訂履歴

版数	改訂頁	改訂内容	作成日 作成者	承認日 承認者
1	―	新規発行	2022.6.1 小美野　勝	2022.6.1 長原　光

K-10：MERS（中東呼吸器症候群）

＜概要＞

・感染経路　：　飛沫または接触感染（エアロゾル発生時は空気感染）

・潜伏期間　：　2～14 日

・基礎再生産率（Ro）　：　0.6～0.7

・症　　状　：　発熱、咳、息切れ（消化器症状を伴う場合もあり）

・治　　療　：　対症療法

＜疑似症患者の定義＞

①症状・所見

・38℃以上の発熱（悪寒がある場合も発熱とみなす）

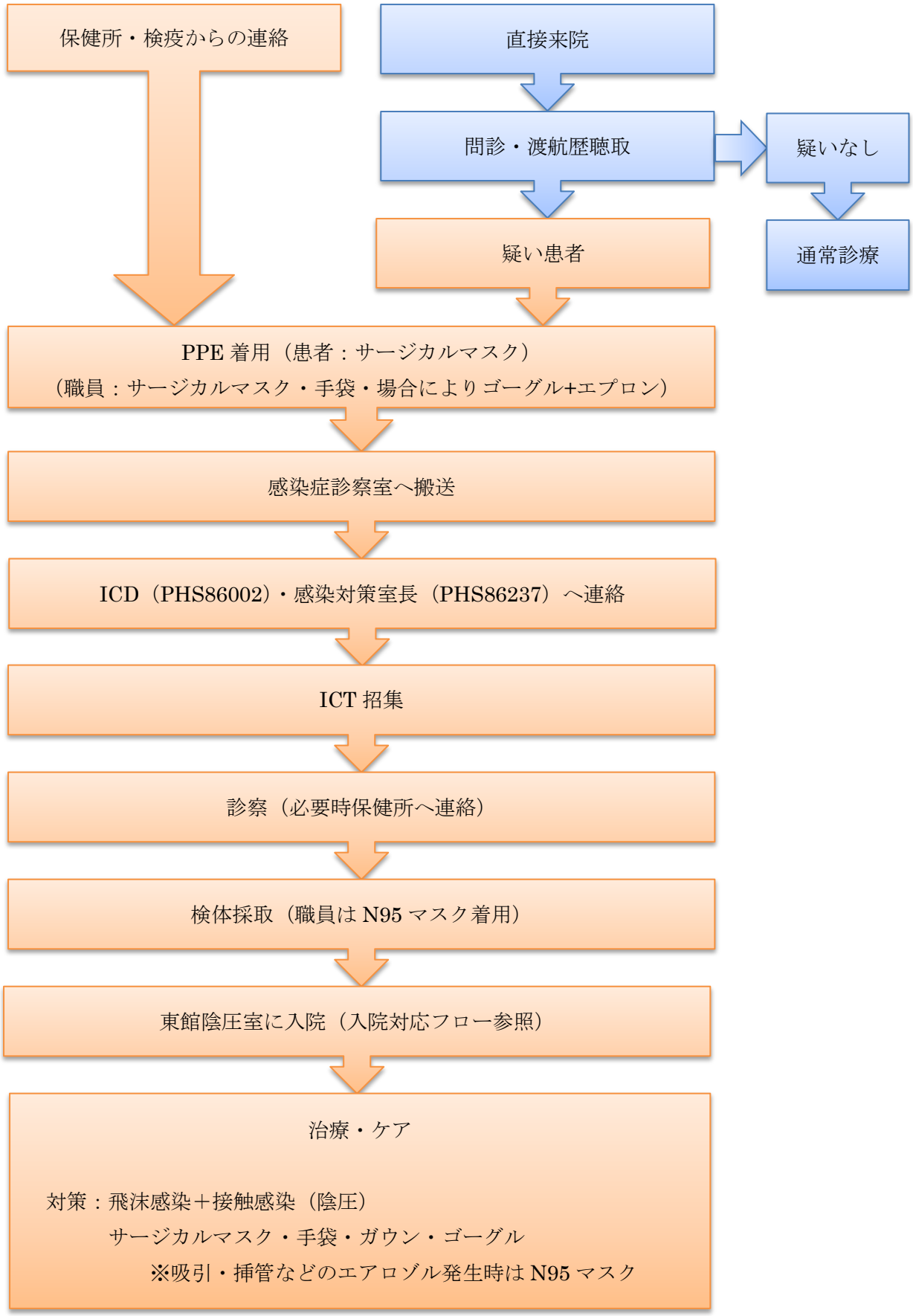
・咳を伴う急性呼吸器症状（軽症を含む）

・肺炎・ARDS が疑われる

②14 日以内にアラビア半島（その周辺諸国）で医療機関の訪問、MERS 確定患者との接触、ヒトコブラクダとの濃厚接触歴があるもの

③14 日以内に韓国で MERS 疑い患者のケア、同居等で体液等に直接接触したもの

＜MERS 対応の流れ＞


保健所・検疫からの連絡
直接来院
問診・渡航歴聴取
疑いなし
通常診療
疑い患者
PPE 着用（患者：サージカルマスク）
（職員：サージカルマスク・手袋・場合によりゴーグル+エプロン）
感染症診察室へ搬送
ICD（PHS86002）・感染対策室長（PHS86237）へ連絡
ICT 招集
診察（必要時保健所へ連絡）
検体採取（職員は N95 マスク着用）
東館陰圧室に入院（入院対応フロー参照）
治療・ケア
対策：飛沫感染＋接触感染（陰圧）
サージカルマスク・手袋・ガウン・ゴーグル
※吸引・挿管などのエアロゾル発生時は N95 マスク

＜入院対応フロー＞

Ⅰ. 対応スタッフは、サージカルマスク（状況によって N95 マスク）着用

（入室前に着用・※退室後全て廃棄）

※接触感染の可能性もあるため、サージカルマスクも外す度に廃棄

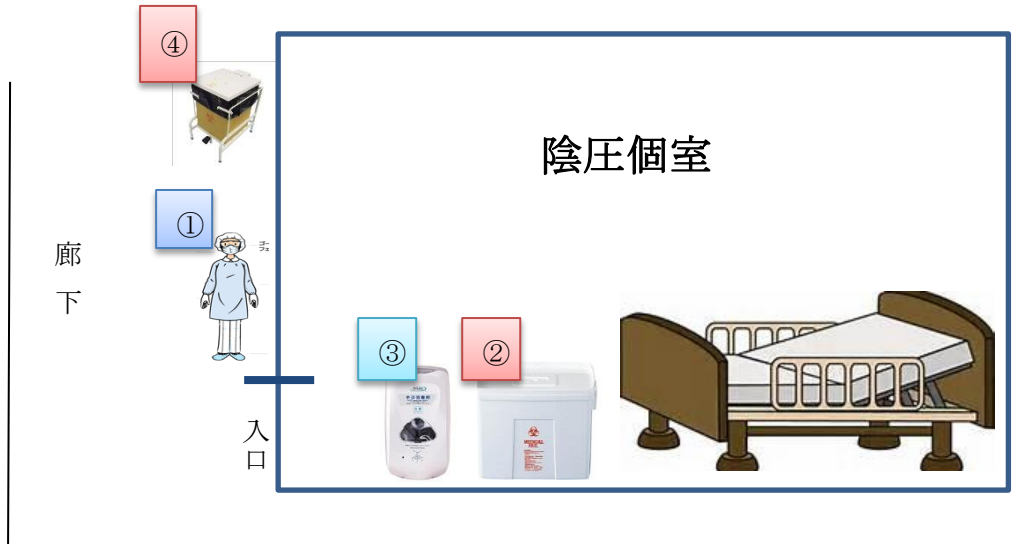
Ⅱ. 必要物品

①PPE　サージカルマスク（N95 マスク）・手袋・ガウン・ゴーグル

②感染性廃棄ボックス（プラスチック）

③アルコールディスペンサー（手指衛生）

④サージカルマスク廃棄用ボックス



Ⅲ. PPE 着用手順

①病室前に PPE を設置し、病室前で着用

手指衛生後、ガウン→サージカルマスク→ゴーグル→手袋の順で着用

Ⅳ. PPE 脱着手順

②病室内で手袋→手指衛生→ゴーグル→ガウンを脱ぐ

③手指衛生

④病室を出てからサージカルマスクを外しボックスに廃棄

⑤手指衛生

Ⅴ. 環境整備・物品の管理方法については、標準予防策＋空気・飛沫・接触感染予防策を実施する（物品は可能な限りシングルユース製品を使用する）

＜入院搬送ルート＞

Ⅰ.病室

1.506・507・606・607 号室の空床ベッドに入院

2.陰圧機能を作動させる（詳細は院内感染防止対策マニュアル M-1：陰圧病室運規定参照）

※ICU 個室は全て陽圧換気のため入室は不可

Ⅱ.搬送ルート

以下の２ルートを使い、南口エレベーターで病室に移動する

ルート１（院外入院ルート）・・・通常使用

ルート２（院内入院ルート）・・・重症患者搬送時。搬送前に周辺患者を退避